

未来への協働

2023年9月13日(水) 第373号

発行所 未来への協働
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX (06) 4306-3512
郵便振替 00940-8-213061
Eメール mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 遺骨返還は当然の権利
- 3面 寄稿 社会を変える市民運動(上)
- 4面 マルクス以降の資本主義批判(第一回)
- 5面 『羊の怒る時 関東大震災の三日間』
- 6面 祖霊を迎えた沖縄のお盆

紙面へのご意見、ご感想を。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。



https://kyodomirai.org

扇状地

先日、BRI CS国際会議が開かれた。これまでの5カ国だけでなく、参加国がさらに拡大したという▼日本のマスコミ

朝鮮人虐殺 日本社会の責任を問う 「公」が主導するヘイト犯罪

100年前の9月1日に発生した関東大震災で、虐殺された朝鮮人は6000人以上といわれる。日本の虐殺責任を明らかにし、ヘイトクライムを許さない集会在、8月27日、大阪市内で開かれた。主催は韓国連帯情報交流会、日朝・日韓連帯大阪連絡会議、コリアNGOセンター。

集会では大阪・韓国連帯情報交流会共同代表の 富永猛さんが「日本政府は朝鮮人虐殺事件の真相を究明を怠り、いまだ被害者に謝罪も賠償も果たしていない。日本社会全体でも朝鮮人虐殺の事実を隠蔽し、正当化しようとするような歴史修正主義が高まり、ヘイトスピーチやヘイトクライムが横行している。本日集会



朝鮮人虐殺へ追悼続々 朝鮮総連東京本部などが開いた集会で、献花する人たち=9月1日、東京都墨田区の都立横網公園/写真提供:共同通信社

は日韓共同で開催した。犠牲者を心から追悼し、二度と繰り返さない決意を表明し、日朝・日韓連帯の市民社会の交流を深めたい」とあいさつ。講演は在日コリアン・ジャーナリストの中村一成さん。中村さんは、石原慎太郎の「三国人発言」(00年)をはじめとして、「公が手本を示したことによって、ヘイトデモが頻発した。ヘイトが官民の間を循環することで社

会の底が抜けていく」と指摘した。

09年に起きたヘイト集団による京都朝鮮学校襲撃事件以降の法的応戦については、「民事訴訟で司法判断は前進しているが、差別者と相対する被害者の負担が重すぎる。やはり刑事司法が重要だ」とその成果と課題を明らかにした。

ウトロ民団名古屋放火

事件では、差別を動機として明示して認定し、量刑に荷重するかが焦点となった。判決は「在日韓国・朝鮮人という特定の出自を持つ人々に対する偏見や悪感情」を動機と認定し、「悪感情」という表現から一歩進んだ点を評価した。また現在の到達点として、川崎市差別のない人権尊重の街づくり条例

6月末、淡路島(兵庫県)の住民には驚くべきニュースがあった。関西、大阪そして神戸の3空港を話し合

「関西3空港懇談会」で、関西、神戸両空港の発着枠拡大で淡路島上空の飛行ルートを増便させる案を国交省が提示したのだ。

2030年を目途に、神戸空港の国際化で1日80回を160回へと倍増、関西空港は年間23万回を30万回に増便させるというも

の。そのため飛行ルートを増やし、低高度で

closeup

騒音被害 住民に不安 関空・神戸空港の増便で

を飛行しないことが、関西と神戸空港の開港時地から5キロ沖に作られたのかという経緯を無視している。

関空は淡路島に岩屋、釜口、中川原、福良の4つの騒音測定局を設置

判の一つに数えられた。その結果深夜早朝の飛行制限が今も続いている。南あわじの島内3市に提

供している。神戸空港開港の1年前に結成された住民団体「淡路の空を守る会」では、これら4局

沖縄県の上告を棄却 辺野古・軟弱地盤工事

沖縄県名護市の辺野古新基地建設を巡り、大浦湾側の軟弱地盤改良工事の設計変更を承認しなかった沖縄県に対する国土交通相の是正指示は違法だとして、県が取り消しを求めた訴訟の上告審判決で、最高裁第1小法廷(岡正晶裁判長)は9

月4日、県側の上告を棄却。是正指示を「適法」とした県側敗訴の福岡高裁那覇支部判決が確定した。ただし最高裁は、県側の主張の中味に立ち入った判断はしなかった。国はこれまでも、基地反対の沖縄の民意をくり返し踏みにじってきた。完成の見込みのない新基地建設を強行しようとする姿勢は許されない。

の騒音データを淡路市経由で入手し、各月ごとにグラフ化し、チェックしている。それを見ると、明石海峡を望む岩屋局では、深夜早朝に関空便の大きな騒音を記録している。他の3局でも生活時間帯の飛行便が約束のレベルを超える騒音を頻繁に記録している。

飛行高度を下げると騒音は大きくなる。便数が増えると騒音の回数が増える。飛行制限が行われている現状でも約束違反の騒音があるのに、ほぼ制限なしで飛ばせばどうなるか。島内のいたるところで騒音がひどくなるのは確実だ。増便計画は、淡路島に住む住民のことを全く考えていない。

淡路島は都会と違って、古くは「御食国」と言われ、今も自然の中で生活する静かな環境に特徴があり、過疎と高齢化が進むが、3市合わせて人口12万人が住む。8月に入って淡路の空を守る会が呼びかけた意見交換会には、島内3市の職員や市会議員など30人が集まり、それぞれ心配や懸念が表明された。増便計画は中止すべきである。(奥山至)

先日、BRI CS国際会議が開かれた。これまでの5カ国だけでなく、参加国がさらに拡大したという▼日本のマスコミはあまり大きな話題となっていないが、世界的にはとても大きなニュースだ。原油生産のインシティアティブにおいて、アラブ・中国・ロシアのインシティアティブがより強くなった▼日米安保体制を「金科玉条」のごとく大切にしている日本の支配層による外交・内政のありようを見ると、不幸な未来しか見えてこない。石油輸入が制限されたらどうなるのだろうか。食糧輸入がとまったら、何を食べることになるのだろうか▼ウクライナ戦争で、アメリカ西欧と一緒にウクライナを一方的に支援し、戦闘を激化させてどうなるのか。世界中が危惧している放射能汚染水を海洋投棄して、世界を敵に回すようなことをなせるのか▼もはやアメリカの一方的な覇権は存在しない。世界の歴史の転換は一段と早くなっている。私たちはこの動きについていけるだろうか。(勝)

遺骨返還は権利

9月22日に判決 大阪高裁

第5回琉球遺骨返還訴訟の歴史を考慮にいれず、「日本国民であれば大法廷を埋め尽くして行われた(8月23日)」。松島泰勝・原告団長の意見陳述、弁護士による最終準備書面の要旨陳述があり、結審した。判決は9月22日(金)午後2時半から大阪高裁。

原告団長の意見陳述、弁護士による最終準備書面の要旨陳述があり、結審した。判決は9月22日(金)午後2時半から大阪高裁。



報告集会での原告、弁護団＝8月23日、大阪市

動である。京大の総長をはじめとする教職員、学生の親族や友だちの遺骨が墓から奪われたら、どれほど怒り、悲しむだろうか。裁判官におかれは、被告である京大が都大を出てこないことだ。裁判所の土俵のなかで正々堂々と議論を交わすことができない。研究という名で差別が行われている。今ある差別的な植民地の問題として、大きな財産を失ったようなもの。奈良沖縄県人会の崎濱盛喜さんは「総決算的な内容が松島さんや丹羽弁護士が述べられた。金城を別にして、沖縄の人間が目を覚ますかどうか、琉球人としての誇りがどうか問われている。二度と沖縄戦を繰り返してはいけない」と話した。

人として生きるために

松島泰勝・原告団長(龍谷大学教授)は、次のように陳述した。「日本人類学会はわれわれ(琉球)の植民地として生きるための重要な活

未来の財産を失った

原告の金城美さんは、「沖縄一坪反戦地主として闘っています。在本地主主義、差別に抗う運動をつくっていきたくて」と発言した。(高崎)

工場解体を許さない 高槻生コン 組合つぶしに反撃



「広域協は組合つぶしをやめろ！」＝8月20日、高槻市

酷暑のなか「ティー・ワッド、ほとんどの労働委員会。地位確認訴訟など厳しい闘いが続くが、絶対に勝利する。ご支援を」。この後、デモが行われた(写真上、8月20日、高槻市)。労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委の全港湾大阪支店や関西地区生コン支部(関生支部)、武庫川ユニオン、関西合同労働組合など100人が参加。

七牟礼時夫・関生支部委員長は「2018年6月以来、激しい弾圧が続いているが、第一次、第二次大坂事件の一部無罪判決、加茂生コン事件の無罪判決は一人残らず頑張っている。分業や背景資本に適用させよう」と呼びかけた。(蒲牟田)

労働運動の継承が問われている。全港湾大阪支部、大阪全港協、武庫川ユニオンなどの発言の後、反弾圧実行委員会の小林勝彦さんが「2018年の関西地区生コン支部への弾圧以降、全港湾でも協定破りなどが多発している。企業が国などと結託して組合つぶしに出ている。悪徳企業を許せば、攻撃は次々とおそいかかってくる。関西地区生コン支部への弾圧は他人ごとではない。力を合わせよう」とまとめた。(蒲牟田)



「一食断食行動」 9月1日、関西電力本店前で「一食断食行動」が行われた(写真)。集会では元原発技術者の山本雅彦さんが、1991年に起きた美浜2号機の蒸気発生器の細管破断事故について話した。事故時、現場にいた山本さんの友人の話では、炉心に冷却水が入らずほんとうに危なかったと。手で加圧器逃し弁を開けて圧力を下げて、炉心溶融をまぬがれたという。関電と中国電力が山口県上関町に中間貯蔵地建設の調査を申し入れた件に多くの人が怒りを表明した。(池内潤子)

汚染水放出をやめろ 海は核のゴミ捨て場ではない



ドバシカメラ梅田店前(大阪市北区)で行われ、参加者たちが核汚染水の危険性を訴えた(写真上)。

東電は、放出開始から2日後の海水調査で「安全が確認された」と発表したが、長期にわたる汚染水放出の影響が、たった2日で分かるはずがない。「3・11」その被害に苦しむ人々の糾弾に私たちは真摯に向きあわなければならない。(新田啓子)

寄稿 社会を変える市民運動 (上)

「市民と野党の共闘」の混迷

市民自治あかし 代表世話人 松本 誠

集団安保法制との闘い

2015年、安倍政権による集団安保法制の強行を機に「市民と野党の共闘」への動きが始まった。与野党が「一強多弱」の状況のもと、16年参院選で自公に3分の2議席を占められると、「安倍改憲」に一拳に突き進みかねないという危機感が大きかった。

当時の民進党内には、連合との関係から共産党との「共闘」候補者調整に慎重な勢力もあったが、背に腹は代えられない中で民進党も共産党の提唱に応じざるを得なかった。安保法制反対で盛り上がったSEALD



安保法制反対闘争＝15年8月30日、国会前

野党共闘の迷走 19年参院選後は、どうだったか。立憲と国民の「合流協議」に1年半近くが費やされ、市民連合が「共通政策案」を提案し5党2会派との協議を呼びかけたが、話し合いのテーブルさえできずの「黄金の3年間」が

消え去ったのは、皮肉としか言いようがない。惨敗した22年参院選

いま自公政権は、立憲政治の空洞化をはかる一方、10年続いた「アベノミクス」という経済破綻への対処ができないまま、超円安に象徴される日本経済の地盤沈下、格差貧困になす術もない。国際的な政治、経済への対応からも取り残されていく。新型コロナウイルス感染症対策も無策のまま、社会

海に墓標を 不戦の誓い

戦没船の資料館を見学

神戸

神戸港のポートタワー近くに、あまり知られていない小さな「戦没した船と海員の資料館」がある。「8月だから」と呼びかける20人ほどに。半数が女性、大学生も1人参加した(8月25日)。

沈められた船の写真や資料を、戦没船を記録する会と全日本海員組合が収集し2000年に設立された。1990年代後半、周辺事態法など日米安保の強化が始まったこ

ともきっかけになった。7200隻以上が撃沈 中国、アジアを侵略し、

今年6月2日インド東部のオリッサ州で死者288人を出した列車事故が起きた。各国の首脳たちがSNSで哀悼のメッセージを発信し、インドのメディアで紹介された。ムン・ジェイン前大統領もSNSで発信する中、唯一紹介されなかったのがユン・ソンニョル大統領だった。その理由は前大統領のフォーローが200万人だったのにたいして、現職大統領のユン氏のフォー

来春 韓国総選挙の行方は

金光男さん(在日韓国研究所代表)

韓国では、すべての政治勢力が、来年4月に行われる総選挙に全力を投入している。進歩勢力の目標は過半数を制し、ユン・ソンニョル政権を「死」で、前回調査の11%から



資料館で説明を聞く＝8月25日、神戸市

「戦後」の「戦後」も、船員は朝鮮戦争やベトナム戦争などに従事させられた。小さな資料館に掲げられた「海員不戦の誓い」の言葉は、「戦争に、絶対に反対する」という強い思いを訴えている。沈んだのは戦艦や空母だけではない。海軍に

「戦艦」の「戦艦」も、船員は朝鮮戦争やベトナム戦争などに従事させられた。小さな資料館に掲げられた「海員不戦の誓い」の言葉は、「戦争に、絶対に反対する」という強い思いを訴えている。沈んだのは戦艦や空母だけではない。海軍に

43%に及んだ。収集される戦没船の写真は、約1300隻。犠牲になった船員は、出身の47都道府県、朝鮮、台湾、本籍地不明...と記されている。日米開戦から戦没船の数は急増する。その数を見ると、そのまま日本の「侵略と戦争への道」がわ

論考

金融市場は統御できるか

マルクス以降の資本主義批判 (第1回) 掛川 徹

資本主義がどういう末路をたどるのかは識者の間で意見が分かれる。ここではマルクス以降の資本主義批判でもっとも有効と思われるカール・ポランニーとイマニュエル・ウォーラーステインを参考に「社会構想」を考えてみる。(初出『プラタニティ』No.30)

ポランニーは市場と社会ができない労働(人の対抗的な「二重運動」、土地(自然)、通貨)の供給を、競争を通じてその主著『大転換』で19世紀初頭から1929年、世界恐慌に到る資本主義の歴史を、市場の自動調節メカニズムによる破壊的作用とこれにたいする社会の自己防衛反応の相克として描き出す。そも



世界の金融センター、ニューヨークのウォール街

以降の新自由主義の展開

を予示するかのような説得力があったことから、今日再びポランニーに注目が集まっている(※1)。彼の論理を現実の政策にどうやって落とし込むかは容易でない。マダが、本稿ではポランニーが商品経済になじまない疑似商品として、土地や労働と同じ次元で通貨をあげている点をとりあげたい。金融市場が実

物経済をはるかに上回って巨大化し(金融化現象)、サブプライムローンなどの金融投機が各国経済に破壊的影響をもたらしてきたにもかかわらず、通貨が何であり、これをどうすべきか、というテーマはほとんどとりあげられてこなかったように思うからだ。

ポランニーとマルクスの通貨論

実はポランニーのような通貨の理解は従来の左

翼になじみが薄い。

彼は一連の草稿でペルシャ、ギリシャなど古代帝国社会の分析を通じて通貨論を展開し、金が代表するような「商品としての通貨」という在り様はあくまでも資本主義に固有な限定された様式にすぎないことを示す。彼にとつて通貨は言語や度量衡と同一の意味論的システムであり、人間社会を維持するために欠かすことができない。需要供給に応じて通貨の価格が乱高下すれば社会が崩壊する

通貨制度を廃止し、労働配分したにすぎず、革命後の民生経済は完全に崩壊した。内戦が終結すると安定通貨の再建が当局の至上命題となり、金価格と連動した金ルーブルという新通貨体系を導入することでようやく戦後の経済再建が緒についたのである(※2)。

通貨の廃止?

だが、これまで通貨廃止の試みはことごとく失敗してきた。ロシア革命直後に「通貨の廃止」を宣言した

ひるがえってマルクスの場合、商品と商品に含まれる価値の分析から通貨を導き出す。一群の個別商品にたいして交換価値の特性をもっとも表象しやすいことから、金こそが普遍的な商品として価値の体系を表現する「世界貨幣」となり(『資本論』、商品経済の廃止に伴って通貨は労働証書に置き換わる(『ゴータ綱領批判』)。

マルクスは「貨幣の廃止」とは言っていないのだが、長い間左翼にとつて通貨こそ商品経済の悪を象徴する存在であり、

に世界経済は大打撃を被った。ニクソンショック金兌換停止後の管理通貨制度においては、実在する金の重量に左右されることなく貨幣発行量を調整することで価値尺度としての通貨の機能が維持されている。日銀の発行する円もまた特殊な商品である以上、市場取引を通じて価格が乱高下する危険に常にさらされているが、日銀は円の価格を安定させるために需要と供給に応じて金融市場で円を供給したり引き上げたり、実に細かい調節や操作を連日行っている(※3)。

「新しい戦前」にさせないために
大軍拡と増税を許すな!

インフォメーション

10月15日(日)

第17回反戦・反貧困・反差別共同行動in京都
変えよう!日本と世界

「新しい戦前」にさせないために
大軍拡と増税を許すな!

午後2時

京都・円山野外音楽堂(祇園・円山公園内)

講演:金平茂紀さん(ジャーナリスト)

発言:小峰ひずみさん(平成転向論)

重信房子さん(元・日本赤軍)

主催:反戦・反貧困・反差別共同行動in京都実行委員会

10月22日(日)

使用済み核燃料の行き場はないぞ!

全国集会

午後3時

関西電力本店前(大阪地下鉄肥後橋駅/京阪電車中之島線渡辺橋駅)

主催:老朽原発ごかすな!実行委員会



沖縄で友人が基地反対 辺野古神戸行動

いた。40代の女性は署名しながら「沖縄でオスプレイの振動がひどくて気持ちが悪くなった」と。父親が石垣島出身の若い男女2人、「沖縄の友人が基地建設反対の活動をしている。頑張ってください」と署名。

8月26日(土) 蒸し暑い日。通行人の極端な暑かったが曇り、陽射し意見にびくつき。

9月2日(土) 蒸し暑い日。通行人の極端な暑かったが曇り、陽射し意見にびくつき。

「新しい戦前」にさせないために
大軍拡と増税を許すな!

ポンド、麻薬漬けに

14歳で売春店に売られ、男からポンドを与えられ、ポンドとタバコと酒に依存して心身をポロポロにされた女性。店主に麻薬を打たれ、「廃人」のようになり、刑務所に服役している女性。マイ

ンドコントロールで借金のことばかりが頭を占め、業者に臓器売買まで企てられ、連れ回された女性。客に性病をうつされても、病院にも行かされず、店主に殺虫剤を患部に吹き付けられ「自己責任」と罵倒された女性。

生理のときも休むことが許されない。追いつめられて自殺を図っても、店主に見つけられて、「借金を返してから死ぬ」と残酷な言葉を投げつけられ、殴られる。「逃げられないんです。死ぬこともできないんです」だから生殖器がすりむけ出血しても、病気になるまでやり続けなければならぬ。「警察の取り締りで捕まったら戸籍に赤線で『淪落女』と書かれ実家に連絡が行く」という店主のどう喝。(戸籍は植民地時代に日本が韓国に押し付けた制度。2008年廃止。現在戸籍制度があるのは世界で

中国、台湾、日本だけ)

普通の男が豹変する

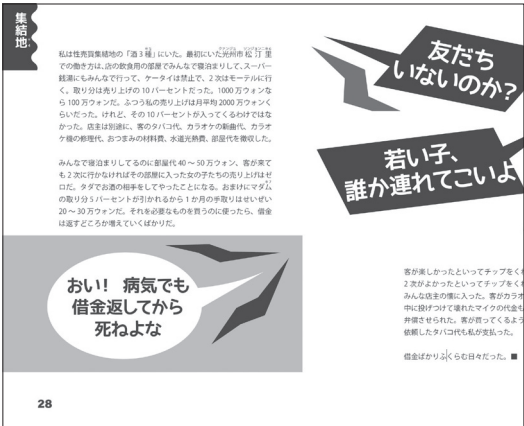
「買った女には何をしてもいい」「女房にはこんなことはできない」と「へんたい」行為を強制する。拒否すると殴る。鼻血を出し、歯を折られ、全身アザだらけになっ

暴力と権力による支配

『無限発話』 買われた私たちが語る性売買の現場 (3)

新・私のジェンダー考 (14) 当問弓子

でも、「この売女」と笑いながら残忍に、差別感を解き放ちながら殴り続ける客もいる。これは例外的な話ではなく、ごく普通の男が性売買の現場では人格が豹変するのだとムンチの女性たちは語る。その根本にあるのは、日頃は潜在化している度



性売買経験当事者ネットワーク・ムンチ著『無限発話』(梨の木舎)より

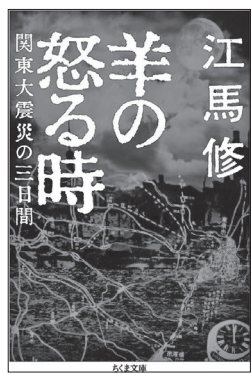
し難い差別感と支配欲だらう。私はこれを見て、錦秋会神出病院で、病院職員が精神病患者に行った凄惨な虐待を思う。看護師たちは患者に屈辱的な行為を強制して、スマホで撮って楽しんでい

はこの曲をうっとりとした熱唱するが、女性の身体を害が被害でないように扱う。「対価が支払われるのだから」と目を貸そうとしないのだ。どんなにひどい目の解放と、そして女性差別がなぜ共存できるのか。方になってくれるはず

『羊の怒る時』

江馬修・著 ちくま文庫

2023年刊 840円+税



『朝鮮人暴動』のデマ 作家が見た100年前の東京

関東大震災から100年、江馬修の『羊の怒る時』が復刊された。もとは1926年に単行本として出版。一市民が体験した関東大震災の発生から数日間を小説形式で著したルポルタージュだ。

震あるに思われるによつて、この時刻には皆屋外にあるべし」という陸軍省広報を見た江馬は不安にかられ、すぐに自宅に帰る。午後3時頃、元中



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週「お試しセット」あり。お問い合わせ TEL/0799-72-5242 関西美 E-mail/kanjitsu_mail@yahoo.co.jp

シン、食欲を増進させ胃を保護する。人は疲れると苦味を欲するらしい。やや遅めに届いたゴーヤ。ビタミンCがたっぷり。苦味成分はモモルデ

トガシさんの「沖縄便り」(64)

祖霊を迎えた

沖縄のお盆

沖縄の旧盆行事は、盆ウークイでした。祖霊をの7日前から始まり、迎え家の中で接待し、送り出します。我が荒谷村日前でした。その日は「タナバタ」で、お墓掃除に行きます。本土のどこか月15日は旧盆であり、そこはあつたかも知れませんが、盆行事の伝来以前に話や、竹に吊した願いごとの短冊などが思い浮かびますが、沖縄ではそんな口マンチックな話とは縁遠い、墓掃除の日です。

死者たちの正月

旧盆は初日、中日、終りの日と3日間。初日をウーンケー(御迎え)、落日をウークイ(御送る)と言います。今年8月28日がウーンケー、30日が人と共に祖霊と共食をし



沖縄県営平和祈念公園の平和の礎(いしじ)＝糸満市摩文仁

壇には果物やお菓子などを供え、先祖が好きだったお酒も供えます。先祖がこの家にとどり着くのに使用したサトウキビの杖を仏壇に置きます。本土では茄子で馬を作ります。陸奥国岩城出身の乗って往来する袋中上人が明に渡るときが、我がここに教えたと言います。東北に伝わる「鹿踊り」が原形かもしれせん。

ます。さらに古くは、祖霊との共食が満月の旧暦1月16日に行われたと思われま。いまでも旧暦の16日(ジュウロクニチ)という行事が残っています。死者たちの正月と言われま。盆になると、各家の仏壇に供したものを食べ、

まい・しよっと (59)



(撮影：7月、神戸市内/mu)

とある古本屋さんの前で柵におしっこするアルミ製の銀色の犬。朝出され、夕方にはしまい込まれるらしい。雨の日はどうしているのだろう。

川柳

利秋

天国で姉が読んでる『有夫恋』三角を並べていけば丸くなる
百円のマッサージ機で出るファイト
血圧は退職したらすぐ下がる
ボチボチと言った男の目がキラリ
青空と芝生と花と私叫ぶ
無理ですと言われてからの物語
五百冊の将棋の本を売った夏
原発は見たか田畑の雑草を
フクシマの緑の中にある怒り

片、屋敷の隅に置きます。その霊は、自分を祀ってくれる子孫や親戚筋がないから、うらやんでい

本で紹介『魂魄の道』。読んだ人が「神

戦争が祀られない霊を増やし、うようよといま

ただ、お盆が終わるまでは採掘はやらないで

「満州」に関する覚え書き (その9)

兵士たちの敗戦

前回は続いた。いよいよ連軍戦車部隊との戦いが始まるの



「満州国皇帝」溥儀

丹江近くの伊林地区の丘陵地帯で、ひたすらで前進してきた。そして、戦車からの砲撃が始まる。圧倒的な物量で攻めてくる連軍に対し、杉田

「事変・傀儡・移民・崩壊」

日本はポツダム宣言を受け入れ、天皇が8月15日に「玉音放送」(この言いようもむかつくが)を行った。大本営が各総司令官に即時戦闘行動の停止命令を出したのは、8月16日の午後4時で

「おわり」(ごじまみちお)